

区分・種別	県指定天然記念物		
名 称	さおのもり 棹の森		
所 在 地	四国中央市妻鳥町		
所 有 者	三皇神社	管 理 団 体	
指定年月日	昭和54年3月20日		
解 説	四国中央市^{めんどり}妻鳥町にある三皇神社境内の樹叢が棹の森である。 ここは、瀬戸内海沿岸低地に繁茂する暖帯性常緑広葉樹林の代表的自然林で、植物の種類も多く、この地方の植物分布を知るうえで貴重な樹叢である。代表的な植物はクスノキで大木が5本もある。神社入口の北側にあるクスノキは特に大きく、目通り4.8m、樹高28mに達している。 この森には、ナギ、ホルトノキ、ヤマモガシ、ミミズバイ、ネズミモチ、クロガネモチ、バクチノキ、ヤブツバキ、カクレミノ等の常緑広葉樹や、エノキ、ムクノキ、センダン、カラスザンショウ、イヌビワ等の落葉広葉樹が多く繁茂している。高木の下にはシュロ、マンリョウ、ヤブコウジ、ベニシダ等の低木や、暖帯性シダ類が生えている。		

